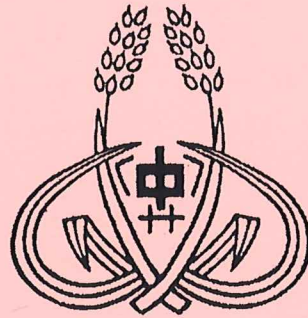


令和3年3月24日

我孫子市教育委員会教育長 様

我孫子市立布佐中学校
校長 小林 浩之

布佐中学校 令和2年度学校評価報告



成 果	<ul style="list-style-type: none">・生徒の学力向上を目指し、校内研究テーマに即した授業実践を推進するとともに、新学習指導要領完全実施に向けた学習指導の在り方や評価方法について、生徒の主体的な取り組みや学習習慣の確立の観点から取り組みの見直し、改善案について取り組むことができた。・働き方改革やねらいの見直しの観点から次年度学校行事や部活動の取り組み等について見直し、改善案を立案することができた。・地域とともにある学校づくりをめざして、生徒の地域貢献の意識の育成などを踏まえた「ふさカリキュラム」の在り方や実施方法について見直し、改善案について取り組み、総合的な学習の時間の充実を図ることができた。・来年度より、布佐中区ではコミュニティスクールが我孫子市では先行実施される。その実施の意義や小中一貫教育の充実を目指した人的な準備を整えることができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置が最優先されたため、生命の安全を第一に、生徒の学習の保障をどうするかに迫られた。今まで実施してきた小中や地域の連携のための取り組みは中止したため、学校評価のためのアンケート内容も大幅に変更せざるを得なかった。・来年度より中学校では新学習指導要領の完全実施が行われ、評価方法も一新される。生徒の学力向上のための評価方法を含めた授業改善や生徒の「主体的、対話的で深い学び」に対する取り組みや学習習慣の確立、家庭学習の取り組みについての向上、改善のための取り組みが現在進行で目標達成には至っていない。・GIGAスクール構想によるICTを活用した授業や学校図書館を活用した授業を年間計画にどう組み入れていくかが今後の課題である。

1.①生徒アンケートの結果と考察

(1)学習に関すること

質 問 項 目	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①楽しく授業を受けることができた。(できている)	46%	46%	7%	0%
②授業に対しては、真剣に取り組んでいる。	51%	43%	4%	1%
③授業の内容は、分かりやすい教科が多いと思う。	37%	40%	16%	4%
④毎日の授業の予習は、家庭でやる時間を作って取り組んでいる。	9%	31%	43%	12%
⑤毎日の授業の復習は、家庭でやる時間を作って取り組んでいる。	13%	40%	35%	10%
⑥宿題や課題など家庭学習はまじめに取り組んでいる。(塾は除く)	41%	35%	16%	3%
⑦授業で分からないところは先生に質問する。(質問したい)	33%	36%	21%	6%

(2)学校生活に関すること

①自分から進んで明るいあいさつをしている。	46%	41%	10%	1%
②友だちにやさしく接することができた。	56%	33%	6%	0%
③遅刻や欠席も少なく、元気よく登校できた。	61%	24%	9%	3%
④服装、頭髪など身なりをきちんと整えている。	63%	26%	6%	1%
⑤体育祭や合唱祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	66%	24%	6%	2%
⑥清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	60%	33%	3%	2%
⑦給食は残さず食べるようにして、食事と健康について考えている。	71%	20%	4%	1%
⑧人のいやがることを言ったり、他人へ暴力をふるうなど人のいやがることはしていない。	61%	33%	3%	1%
⑨いじめなどの「あってはいけないこと」は、進んでなくす努力をした。(なくしたいと思う)	70%	22%	6%	0%
⑩自転車の運転や歩行など、交通ルールや登下校のマナーを守ることができた。	76%	18%	2%	0%
⑪シェイクアウト訓練や避難訓練に真剣に参加するなど、防災や安全に気をつけて生活している。	69%	21%	5%	1%
⑫校内での集団生活のマナーやルールを守っている。	70%	26%	1%	0%
⑬委員会や係の活動に責任をもって取り組み、助け合い協力することができた。	65%	26%	2%	2%

(3)自分自身と身のまわりの人とのかかわりについて

①日々の検温、手洗い、うがい、消毒など自分の健康に気をつけて、規則正しい生活を送るよう努力している。	70%	23%	2%	0%
②自分の将来の進路(進学や仕事)について真剣に考えている。	55%	25%	12%	3%
③家庭への配付物などは、保護者に確実に渡し、目を通している。	52%	32%	9%	1%

<考察>

- ・達成率の低い項目については、今年度の取り組みを振り返り、現状や課題となる具体的な内容についての対策を立てています。例えば、(1)の④、⑤の「家庭での予習や復習」や⑥「課題や宿題」などについての家庭学習の取り組みについては、時間の確保という量と取り組み方、やり方などの質の両面で生徒たちは十分にできないとしている。年度始めからの休校や分散登校もあり、家庭での学習については、学校と家庭が連携し、生徒の皆さんが充実した自主的な学習ができるよう学校として力をいれていく必要があります。1人1台のタブレットの導入準備も進められており、3年生では試用期間として授業での活用の取り組みも始めています。
- ・③「授業内容の分かりやすさ」の項目について、2割の生徒がもっと分かりやすい授業を望んでおり、分かりやすい授業の実践に向けた校内研修の充実、教員1人1人の力量のアップに学校として更に取り組む必要があると思われます。「主体的・対話的な深い学び」を目指す新学習指導要領が来年度より始まります。新しい教科書による年間指導計画の作成についても計画的に進めていきます。⑦の「質問する(質問したい)」という割合が低いことも、自ら課題を見つけて、その課題を解決してみよう、解決したいという学ぶ姿勢にかかわる項目で、「質問しやすい、質問したい、質問せずにはいられない授業づくり」という教員の教え方についての課題と読み取らなければならないと思われます。①「楽しく授業を受ける」「真剣に受ける」からより進んだ深い学び、授業の工夫が必要と思われます。これらのことを踏まえて、授業改善に向けた取り組みをしていきたいと思えます。

1.②保護者アンケートの結果と考察

(1)布佐中学校に関すること

質 問 項 目	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①学校は教育方針(目標)を理解されるよう努めており、保護者もそれに賛同し連携に努めている。	21%	70%	6%	0%
②学校は保護者会や通知票等で、子どもに身につけさせたい学力を示し、達成度を分かりやすく伝えている。	26%	58%	12%	1%
③学校は、学校・学年だより、ホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	33%	59%	5%	0%
④学校は、避難訓練の実施などを通して、布佐の町に住む子どもたちに防災意識を育む教育をしている。	24%	62%	12%	0%
⑤学校は、特別に支援を必要とする生徒等、個々の生徒のニーズに応じた教育的支援を行っている。	21%	60%	14%	1%
⑥学校は、生活マナーや社会のルールを大切にする教育に努めている。	23%	62%	10%	0%
⑦学校は、交通安全指導や防災教育など、子どもの安全確保に努めている。	25%	62%	9%	0%

(2)自分のお子さまに関すること

①お子さまは、登下校時など進んで挨拶をしている。	23%	52%	20%	1%
②お子さまは、お互いのことを気づかい、思いやりがある。	28%	59%	9%	1%
③お子さまは、自ら学び、積極的に授業に取り組んでいる。	23%	46%	23%	5%
④お子さまは、学校へ行くことを楽しみにしている。	30%	46%	18%	3%
⑤お子さまは、授業が分かりやすいと言っている。	9%	44%	37%	6%
⑥お子さまは、宿題など家庭学習(塾を除く)にしっかりと取り組んでいる。	21%	46%	20%	10%
⑦お子さまは、体育祭や合唱祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	40%	43%	10%	1%
⑧お子さまは、教職員と円滑な人間関係を築いている。	26%	63%	7%	1%

(3)教職員に関すること

①教職員は、保護者からの問い合わせや来校時に丁寧な対応をしている。	43%	50%	4%	1%
②教職員は、家庭への連絡等を適切に行っている。	37%	57%	2%	1%
③教職員は、子どもの理解に努め、相談や指導を丁寧に行っている。	29%	57%	8%	2%

(4)保護者の方に関すること

①子どもの健全な育成のため、担任等と積極的に意思疎通を行っている。	20%	59%	20%	0%
②保護者として、学校の教育方針(目標)に関心があり、学校・学年だよりなどは目を通すようにしている。	28%	59%	10%	0%
③保護者として、子どもの家庭学習の必要性を理解し、提出物などもしっかり取り組むように声をかけている。	29%	54%	12%	1%
④地域の一員として、布佐中生たちを見守り、声をかけるように意識している。	10%	51%	32%	4%

<考察>

- ・(2)⑤「分かりやすい授業」について、生徒結果と同様に「分かりづらさ」がある、「分かりにくい」とお子さまの様子や言葉等を通して感じている保護者の皆様も多いことが分かります。また、③「積極的な授業への参加」についても、「分かる授業」と関連し、「分かる授業になれば、もっと積極的に授業に参加するだろう」という保護者の皆様の思いも考えられます。そして、「分かる」ことが、「家庭学習」の充実にもつながるのではないかと、ということも読み取れます。また、2割の保護者の方から学校に行くことを楽しみにしていない、という評価がでています。授業だけでなく、学校行事や係活動、そして、何よりも毎日の触れ合いや言葉かけ等、課題があるものについて具体的にどこをどのように改善していくか、ということを考える必要があると思われます。コロナ禍で、今まで通りの「当たり前」がそうでなくなっている状況も踏まえて、改めてその目的や方法、そして何よりもコミュニケーションや信頼関係の大切さ等教職員間で共通理解と研修を進めていきたいと思えます。
- ・1人1人の生徒のニーズに応じた特別支援教育(合理的な配慮の実施など通常級の生徒も含めた)特別支援教育の充実や登下校の挨拶などの生活習慣の確立、避難訓練のより一層の充実や継続などの健康・安全に関する教育活動の実践も課題としてあげられており、計画の練り直しも必要と思われます。

③. 生徒・保護者アンケート 自由記述のまとめ

コロナ関係	1	ネット環境が我が家に整っていなかったため、1学期の初めの方は、子どもに不便な思いをさせて申し訳なかったが、保護者としても学校から置いてけぼりの感じがしてしまった。
	2	今年は、新型コロナのことがあり、学校・生徒・保護者も大変な中、いつもと違う過ごし方を強いられてきた。色々分からない中、その都度、できる限りの対処、対応だったと思うが、例えば、休校中、週に数回、担任からの連絡や音楽、体育等の具体的な対策、感染者が出た後、行った対応があれば発信してもらえると、更に安心感を持てるかと思う。先生方は通常以上の負担があると思われますが…。
学習指導	3	市内でも学力の低い布佐中、1.2学期は中間テスト、期末テストと2回に変えてみる等学力向上を考えていただきたい。教科書等の荷物が多く、黒カバンの重すぎで、登下校時、安全に不安を感じる。
	4	授業中、先生の雑談が多く本題に入らないという話をよく子どもがする。仕事(授業)はしっかりしてもらいたい。
学級編成	5	2年生になると1クラスになると聞いた。多感な時期であり、1クラスでは逃げ場がない。コロナのこともあるので2年生も2クラス継続を希望する。
生徒指導	6	思春期という事もあり、子どもとの会話が少ない中、学校での様子や状況など把握することが難しい。3年生だけでなく親と先生が面談する機会をもう少し増やしてほしい。
	7	冬季期間や雨天時など、ジャージでの帰宅を可能にしていきたい。
	8	今も和田幼稚園から線路までの道などは中学生が通るのが最優先と勘違いをして歩いている。香取商店の方が注意してくれているのも見た。
	9	先生が1人1人にとっても丁寧に関わってくれて、声もかけてくれて理解しようとしていることに、子どもも安心しているのでとても感謝している。布佐中全員の先生がとてもいい先生だと子どもの口から聞くので親としても安心です。
	10	先生の言葉遣いに何度も傷ついたようで、一度のミスで「技能はCです」「何ですか、その態度は」と他の生徒の時は言わないで、自分だけいつも言われるように感じ、授業がある日は学校に行きたくないなどと言っている。他の子との比較やひいきと感じられてしまう言い方は考えてほしい。何度も繰り返されているようなので考えてほしい。
	11	生徒を叱る時は、なぜいけないのかを伝えてほしい。「考えれば分かる」ではない場合もあり、まだまだ子ども、納得できるように伝えていただければと思う。
進路指導	12	他の市の中学校では随分早い段階で高校受験や子どもの学力レベルについて面談等が頻繁に行われているが、我孫子市は少ないように感じる。子どもの偏差値等分らず、どのレベルにいるのか不明なため、高校を選んだり目標づけができない。あまり高校受験に(進学)に関して、積極的に高校の情報を提供している印象がない。子どもたちの学力向上がどのくらいしているのか、評価又はどの部分がどれくらい不足しているのか等細かく保護者に伝えて欲しい。個別の対策を希望、一部の教科の評価、一部の教員の対応について疑問がある。
	13	通知表だけだと今後の高校の進学のめやすにできないので、目標に向けての取り組みを教えてほしい。
学校生活	14	教科書・ノート・ワーク・ファイル、とにかく荷物が重すぎる。成長期の子どもには体をおかしくすんのではないかと親は心配している。先生に相談したがどうにもならないらしい。
行事	15	コロナ禍の大変な中、様々な対策をして下さり有難うございます。授業参観は分散でもいいので行って欲しいです。
広報	16	布佐中の学校HP等で学校の様子をまめに更新してほしい。
PTA	20	PTAは廃止してほしい。1人親世帯への負担が大きすぎる。シルバー人材センターの方を活用するなど、学校で行うPTA活動のボランティア活動を高齢者の雇用としてもいいのではないか。
その他	17	コロナ禍の中で学業、部活動に感染対策しながら通わせていただき有難うございます。子どもも積極的に自主学習に取り組んでいますので見守ってほしいと思っています。
	18	学習だけでなく、委員会や部活動においても、きめ細かに指導いただきとても感謝している。
	19	いつも温かく見守っていただき有難うございます。上の子も含めてお世話になりました。

生徒アンケート 自由記述

	1	いつものメンバーで帰っていたら、やはりまだ女子や男子の悪口を言っている生徒がいる。そういうのはやめたほうがよいと言っているのにやめない。
--	---	----------------------------------------------------------------------

2-① 生徒アンケート結果
前年との比較と考察

4 そう思う
3 大体そう思う
2 あまりそう思わない
1 そう思わない

「4そう思う」「3大体そう思う」の割合

		4	3	2	1	無回答	令和2年度 令和元年度		
		%	%	%	%		30%	50%	
○学習に関すること									
1	楽しく授業を受けることができた。(できている)	46%	46%	7%	0%	1%	令和2年度 92% R1年度 79%		
2	授業に対しては真剣に取り組んでいる	51%	43%	4%	1%	1%	今年度 94% 昨年度 84%		
3	授業の内容は、分かりやすい教科が多いと思う。	37%	40%	16%	4%	3%	77% 67%		
4	毎日の授業の予習は家庭でやる時間を作って取り組んでいる	9%	31%	43%	12%	5%	40% 38%		
5	毎日の授業の復習は家庭でやる時間を作って取っている。(塾は除く)	13%	40%	35%	10%	2%	53% 49%		
6	宿題や課題など家庭学習はまじめに取り組んでいる。	41%	35%	16%	3%	5%	76% 68%		
7	授業で分からないところは先生に質問する。(質問したい)	33%	36%	21%	6%	4%	69% 65%		
8	授業の中のグループ学習で学び合う学習は楽しく、学力がつくと思う。	令和2年度は実施せず						73%	

		4	3	2	1	無回答	今年度	
		%	%	%	%	%	78%	87%
○学校生活に関すること								
1	自分から進んで明るいあいさつをしている。	46%	41%	10%	1%	2%	今年度 87% 昨年度 78%	
2	友だちにやさしく接することができた。	56%	33%	6%	3%	2%	89% 91%	
3	遅刻や欠席も少なく、元気よく登校できた。	61%	24%	9%	3%	3%	85% 81%	
4	服装、髪など身なりをきちんと整えている。	63%	26%	6%	1%	4%	89% 85%	
5	体育祭や合唱祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	66%	24%	6%	2%	2%	90% 83%	
6	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	60%	33%	3%	2%	2%	93% 85%	
7	給食は残さず食べるようにして、食事と健康について考えている。	71%	20%	4%	1%	4%	91% 88%	
8	人のいやがることを言ったり、他人への暴力をふるうなど人のいやがることはしていない。	61%	33%	3%	1%	2%	94% 86%	
9	いじめなどの「あってはいけないこと」は、進んでなくす努力をした。(なくしたいと思う)	70%	22%	6%	0%	2%	92% 89%	
10	自転車の運転や方向など、交通ルールや登下校のマナーを守ることができた。	76%	18%	2%	0%	4%	94% 91%	
11	避難訓練に参加するなど、防災や安全に気をつけて生活している。	69%	21%	5%	1%	4%	90% 74%	
12	校内での集団生活のマナーやルールを守っている。	70%	26%	1%	0%	3%	96% 89%	
13	委員会や係の活動に責任をもって取り組み、助け合い協力することができた。	65%	26%	2%	2%	5%	91% 88%	

		4	3	2	1	無回答	今年度		
		%	%	%	%	%	87%	93%	
○自分自身と身のまわりの人とのかわりについて									
1	健康に気をつけて規則正しい生活を送るよう努力している。	70%	23%	2%	2%	3%	今年度 93% 昨年度 87%		
2	自分の将来の進路(進学や仕事)について真剣に考えている。	55%	25%	12%	4%	4%	80% 76%		
3	家庭への配布物などは、保護者に確実に渡し目を通してもらっている。	52%	32%	9%	3%	4%	84% 80%		
4	自分が住んでいる地域の行事には進んで参加している。(参加したいと思っている)	令和2年度は実施せず						53%	
5	地域でのボランティア活動に参加する機会があれば、積極的に参加している。(参加したいと思っている。)	令和2年度は実施せず						46%	

<考察>

・全体的に昨年度と比較すると生徒自身の達成感が上昇傾向にあることが分かり、休校や分散登校など生徒たちの生活も落ち着いた不安定なものであったと思われるが、それぞれの生徒の自覚や担任の支援などが活かされ、努力し、ある程度の達成感があることが分かる。
 ・地域貢献を目標の一つと考えている生徒も多いが、今年度は地域との交流やボランティア活動、行事等に参加することはなかった。来年度は、新型コロナウイルス感染症の状況次第であるが、徐々に状況を考えて実施したい。
 ・毎日の家庭での検温や健康観察などは引き続き徹底したい。

2-② 保護者アンケート結果
前年との比較と考察

- 4 そう思う
3 大体そう思う
2 あまりそう思わない
1 そう思わない

4そう思う 3大体そう思う の割合

○布佐中学校に関すること

	4 %	3 %	2 %	1 %	無 回 答	割合		
						令和2年度	令和元年度	
1 学校は教育方針(目標)を理解されるよう努めており、保護者もそれに質問し連携に努めている。	21%	70%	6%	0%	1%	91%	79%	84%
2 学校は保護者会や通知票等で、子どもに身につけさせたい学力を示し、達成度をわかりやすく伝えている	26%	58%	12%	1%	0%	77%	84%	77%
3 学校は、学校・学年だより、ホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	33%	59%	5%	0%	0%	92%	87%	87%
4 学校は、保護者や地域の方に教育内容を公開し、地域との連携を図ろうとしている。	令和2年度は実施せず					87%		
5 学校は、ふさカリキュラムや布佐タイムなどの特色ある教育活動を行っている。	令和2年度は実施せず					95%		
6 学校は、避難訓練の実施などを通して、布佐の町に住む子どもたちに防災教育をしている。	24%	62%	12%	0%	0%	86%	84%	84%
7 学校は、特別に支援を必要とする生徒等、個々の生徒のニーズに応じた教育的支援を行っている。	21%	60%	14%	1%	1%	81%	72%	72%
8 学校は、生活マナーや社会のルールを大切にする教育に努めている。	23%	62%	10%	0%	0%	85%	70%	70%
9 学校は、グループ学習など工夫をこらして生徒の学力の向上に力を尽くしている。	令和2年度は実施せず					72%		
10 学校は、交通安全指導や防災教育など、子どもの安全確保に努めている。	25%	62%	9%	0%	1%	87%	78%	78%
11 学校が教職員の働き方改革の観点から夜間休日の自動音声電話対応を導入したことは意義のあることである。	令和2年度は実施せず					77%		
12 学校が期間をもうけて教職員が家庭訪問を行うことは必要なことである。	令和2年度は実施せず					49%		

○布佐中生に関すること

1 布佐中生は、登下校時など進んで挨拶ができ、活気あふれる学校となっている。(令和2年度より「お子さまは～」の表現に変更)	23%	52%	20%	1%	4%	78%	65%	65%
2 布佐中生は、お互いのことを気づかい、思いやりにあふれる学校になっている。(令和2年度より「お子さまは～」の表現に変更)	28%	59%	9%	1%	3%	87%	80%	80%
3 布佐中生は、自ら学び、積極的に授業に取り組んでいる。(令和2年度より「お子さまは～」の表現に変更)	23%	46%	23%	5%	3%	69%	62%	62%

○自分のお子様に関すること

1 お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。	30%	46%	18%	3%	3%	76%	75%	75%
2 お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	9%	44%	37%	6%	4%	53%	43%	43%
3 お子様は、宿題など家庭学習(塾は除く)にしっかりと取り組んでいる。	21%	46%	20%	10%	3%	67%	49%	49%
4 お子様は、体育祭や合唱祭、宿泊学習などの学校行事に積極的に取り組んでいる。(令和2年度は宿泊学習はなし)	40%	43%	10%	1%	6%	83%	84%	84%
5 お子様は、教職員と円滑な人間関係を築いている。	26%	63%	7%	1%	3%	89%	74%	74%

○教職員に関すること

1 教職員は、保護者からの問い合わせや来校時に丁寧な対応をしている。	43%	50%	4%	1%	2%	93%	88%	88%
2 教職員は、家庭への連絡等を適切に行っている。	37%	57%	2%	1%	3%	94%	77%	77%
3 教職員は、子どもの理解に努め、相談や指導を丁寧に行っている	29%	57%	8%	2%	4%	86%	72%	72%

○保護者の方に関すること

1 子どもの健全な育成のため、担任等と積極的に意思疎通を図っている。	20%	59%	20%	0%	1%	79%	73%	73%
2 保護者として、学校の教育方針(目標)に関心があり、学校・学年だよりなどは目を通すようにしている。	28%	59%	10%	0%	3%	81%	81%	81%
3 保護者として、授業参観や学校行事等に積極的に参加し、子どもの様子を把握しようとしている。	令和2年度は実施せず					74%		
4 保護者として、子どもの家庭学習の必要性を理解し、提出物などもしっかり提出するように声をかけている。	29%	54%	12%	1%	4%	83%	82%	82%
5 地域の一員として、布佐中生たちを見守り声をかけるように意識している。	10%	51%	32%	4%	3%	61%	66%	66%

<考察>

・布佐中学校に関することや生徒に関することや教職員・保護者の方に関する多くの項目で昨年度を上回り、評価が上がっていることは成果としてこれからの取り組みの更なる充実につなげたい。コロナ禍のなか、家庭訪問や地域に出での活動、防災訓練への参加などが中止となり、大切な活動・取り組みができなかったことは残念であるが、内容を変更したり、縮小したり工夫しながら教育活動を続けてきたことに対する保護者の皆様の温かい支援も感じられる。特に、「分かる授業の実践」丁寧な指導や支援について、更に充実させていきたい。

今年度の重点について

3-① 教職員による自己評価 設問項目と評価・達成率		4	3	2	1	達成率
①	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣の確立を図る。	5	11	2	0	88.9%
②	基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む。	6	12	0	0	100.0%
③	自分の生き方を考え、主体的に判断し、行動できる力を育む。	4	12	2	0	88.9%
④	自立した人間として多様な人々と協働し、共によりよく生きるための豊かな心や思いやり、創造性の涵養を図る。	5	12	1	0	94.4%
1	授業の初めに学習課題(問題)を提示し、終末にまとめや振り返りの時間をとっている。	8	8	0	0	100.0%
2	1時間の授業の中で、「深める」活動(思考をする)を取り入れている。	4	11	1	0	93.8%
3	読書・読書活動の充実のための取り組みと授業への図書の利用を年間計画の中に入れている。	1	6	5	3	46.7%
4	授業の中で学校図書を活用するための工夫を行っている。	2	3	7	2	35.7%
5	家庭学習の習慣化・充実を図り、授業と連動させる工夫を行っている。	4	10	2	0	87.5%
6	カリキュラム・マネジメント、PDCAサイクルを活かした計画的な指導・支援を行っている。	3	11	1	0	93.3%
7	特別活動(学校行事、生徒会、学級会、学級活動)での話し合い活動を進めている。	8	5	2	0	86.7%
8	課題発見、解決型の総合的な学習を進めている。	10	6	0	0	100.0%
9	一人一人のよさを認め、人間関係形成のできる生徒指導を進めている。	13	4	0	0	100.0%
10	生徒の自主的な活動を基盤とした地域貢献活動を推進している。	4	5	5	0	64.3%
11	一人一人が所属感・存在感をもてるような学級経営の工夫により、生徒が充実した生活を送っている。	6	8	2	0	87.5%
12	学級活動等の活性化により、生徒の主体性の育成を目指している。	9	6	0	0	100.0%
13	教育活動全体を通して、生徒の豊かな心を育む努力をしている。	9	6	0	0	100.0%
14	道徳で培った道徳的判断力や行動力を、生徒の生活や他の教科の中で生かそうとしている。	5	9	1	0	93.3%
15	特別の教科 道徳の授業を考え議論する内容になるよう努力している。	5	9	1	0	93.3%
16	問題行動等が発生した場合、職員相互がチームにより対応し、管理職や関係職員への報告・相談等を行いながら、早期解決に努めている。	15	3	0	0	100.0%
17	生徒に自律的な規範意識を育てよう、学年、学級、分掌等での活動推進に努めている。	11	6	0	0	100.0%
18	特に課題を抱えた生徒に関する情報は、学校職員の共有すべき情報として伝える、相談するなどの「つなぎ機能」が生かされている。	13	3	2	0	88.9%
19	長欠・教育相談に関する指導は、必要に応じ、他校種、外部機関と連携するなどチームワークで対応しようとしている。	13	4	1	0	94.4%
20	生徒が自ら考え、自主的・自律的に行動でき、みずからの言動に責任を負うことのできる生徒を育成するための指導を行っている。	8	9	1	0	94.4%
21	社会の一員としての意識(公平・公正・勤労・モラル等)を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	8	10	0	0	100.0%
22	保護者と連携して、粘り強く生活習慣を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	9	8	1	0	94.4%
23	いじめ根絶に向けて、全職員でいじめ防止基本方針を確認し、全職員で連携して取り組んでいる。	13	4	1	0	94.4%
24	生徒に体力・健康の自己管理ができるよう、治療のすすめ、生活習慣などの指導を行った。	13	4	1	0	94.4%
25	災害、危険防止の観点からシェイクアウト訓練等の指導を子どもたちに適切に行った。	14	4	0	0	100.0%
26	日々の生徒の健康について、特にコロナ対応(マスク、手洗い、消毒、検温等)の指導を子どもたちに対して適切に行った。	16	2	0	0	100.0%
27	特別な支援を必要とする生徒に対して、学級経営や授業の中で配慮を行っている。	10	6	0	0	100.0%
28	ユニバーサルデザインの考え方に基づいた授業実践や学級経営に努めている。	8	8	0	0	100.0%
29	特別な支援を必要とする生徒について個別指導計画や個別の教育支援計画を適切に作成し、活用している。	10	6	0	0	100.0%
30	特別な支援を必要とする生徒について医療、福祉(児相など)関係機関との連携を図ろうとしている。	13	3	1	0	94.1%
31	通常級における合理的配慮の在り方について全職員で考え、具体的な取り組みを行っている。	9	7	1	0	94.1%
32	特別支援教育部会を定期的実施し、情報の共有や共通理解を図り、校内の特別支援教育の推進の中心となるように活動している。	6	9	0	1	93.8%
33	学年・教科を越え、教員としての力量形成のための研修を進めている。	7	8	3	0	83.3%
34	若手教員、栄養職員、養護教諭等の校内職員の研修に、積極的にに関わり、人材育成に寄与している。	5	10	3	0	83.3%
35	郷土の偉人や業績、地域の歴史を学ぶカリキュラムに基づき授業を実施し、小中(高)をつなぐ教育を進めようとしている。	9	9	0	0	100.0%
36	学校教育目標の具現化に向けて、保護者・地域と連携を図り、教育活動の理解や参画を得るよう努めている。	8	8	2	0	88.9%
37	組織の円滑な運営のために、学年を越えて声を掛け合うなど、「つなぐ」意思疎通を図っている。	9	8	1	0	94.4%
38	学年や学級の課題を明らかにし、改善するための工夫を行っている。	10	8	0	0	100.0%
39	市予算の財務は、学校教育目標具現化に向けて適正執行されている。	9	6	2	1	83.3%
40	HP・学校便り・学年だより・学級だより・保健だよりや給食だより、相談室だよりなど学校広報が進んでいる。	10	7	1	0	94.4%

R2年度学校教育目標
『自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成』 「自主」と「共生」

R2年度の重点

1. 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣の確立を図る。
2. 基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む。
3. 自分の生き方を考え、主体的に判断し、行動できる力を育む。
4. 自立した人間として多様な人々と協働し、共によりよく生きるための豊かな心や思いやり、創造性の涵養を図る。

めざす生徒像

- ① 主体的によりよい生活・学習のあり方を求め、思考し、的確に判断しながら行動できる生徒
- ② 互いの価値観を認め、仲間と学び合い支えながら、他への貢献ができる生徒

めざす学校像

- ① 生徒の豊かな学び、主体的な学習を支える教員
- ② 子どもの視点、親の視点、そして教員としての信念を持ち、共感的な理解や支援による生徒指導
- ③ 子どもの変容に気づき、自らも自己変革、変容できる教員
- ④ 「学校」という組織の一員であるだけでなく、よき地域社会の一員、そして良き家庭人として

4・・・できた 3・・・概ねできた
2・・・あまりできなかった 1・・・できなかった

重点	(教職員による自己評価) 評価の観点	評価 上段=評価 下段=人数				達成率
		4	3	2	1	
1	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣の確立を図る。	4	3	2	1	88.9%
		5	11	2	0	

- ① コロナ禍の中で、できる学習に限られたが、子どもたちが前向きに取り組めるよう工夫した。(授業と家庭学習の往還)
- ② 各教科共に工夫し、主体的に学習に取り組む態度を養っていたように感じる。家庭学習をどう習慣化するか難しい課題だと感じる。
- ③ きっかけ作りを試みるが、とりかかりに難があったり、続かなかったりしている。主体性は学力向上と相関関係があると思うので、理解させることを優先していこうと思っている。
- ④ 評価と要求を行いながら、主体的に活動できるようにしている。
- ⑤ 体育の学習では、どの単元でも似た流れにすることで、自分たちで授業を動かせるようになってきた。このまま継続していきたい。
- ⑥ 今年度は、班隊形などが難しかった。来年度はできるようにしたい。
- ⑦ 生徒の興味・関心を惹くように、授業の導入を工夫したい。

2	基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む。	4	3	2	1	100.0%
		6	12	0	0	

- ① 後半に向けて用具の扱いを確認しながら取り組んでいき、力がつくように継続していきたい。
- ② 鑑賞の授業に向けて、休校中の家庭学習用プリントを用いたり、歌唱・器楽の技能向上を授業内で行った。
- ③ 授業では、課題に取り組む時間を多くとるが、基礎が身に付いていないために前に進めない生徒が多い。引き続き個別に対応できる時間をとっていきたい。
- ④ 評価と要求を行いながら、主体的に活動できるようにしている。
- ⑤ 基礎・基本は毎日の積み重ねなので、毎日5分間の学習を取り入れたり、2分前学習を各教科行うことを決めて、取り組むなどがあればと思う。
- ⑥ 小テストなどを通して、学習する機会をつくり、学習が定着するようにしたい。

3	自分の生き方を考え、主体的に判断し、行動できる力を育む。	4	3	2	1	88.9%
		4	12	2	0	

※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策

①	声のかけ方により、生徒が主体的に判断・行動できる力が劣化している。今後も継続していきたい。
②	学習課題の語尾を「～するにはどうしたらよいか」などの形にして、自ら課題解決のために行動できるように工夫した。
③	学年活動などで自分たちの活動をきちんとやろうという姿勢が感じられている。引き続き時期に合った提案をしていきたい。
④	評価と要求を行いながら、主体的に活動できるようにしている。
⑤	その都度、学校の現状について話し合う。

4	自立した人間として多様な人々と協働し、共によりよく生きるための豊かな心や思いやり、創造性の涵養を図る。	4	3	2	1	94.4%
		5	12	1	0	

※1学期末における現状や2学期に向けての改善策・伸長策

①	様々な活動の中で、多様な人々との関わりから、心の成長を目的として関わっている。
②	班や委員会活動などを通し、協働することの大切さを味わわせた。
③	授業等で他との「かわり」方などにも注意して指導していく。仲が良ければ、どんな発言も許されるという感じがあった。
④	評価と要求を行いながら、主体的に活動できるようにしている。
⑤	思いやりの心を多くの生徒が持っていると思うが、ふとした瞬間に自分本位な考えをポロっと出してしまうので、本当の意味で豊かな心は育っていないと思う。
⑥	メリット・デメリットあると思うが、班活動がコロナのため縮小していくことになり、今までより協働的な活動が減ってしまった。やれる範囲で努力していきたい。
⑦	行事や学級活動を通して、協力することの大切さや、誰かのために行動することの素晴らしさを伝えている。
⑧	学級の活動を通して意図的に協働する場面を作り、心の葛藤や達成感を感じるような取り組みを実施している。

手 だ て	領 域	NO	(教職員による自己評価) 評 価 の 観 点	評価 上段=評価 下段=人数				1学期 達成率	
				4	3	2	1		
人 言 を 生 活 か し ・ 充 実 ・ 共 生 的 な 態 度 ・ 職 員 ・ 生 徒 の 協 働 ・ 小 中 を つ な ぐ ・	学 力 向 上 の た め の 校 内 研 究 の 推 進 と 授 業 改 善	1	授業の初めに学習課題(問題)を提示し、終末にまとめや振り返りの時間をとっている。	8	8	0	0	100.0%	
		2	1時間の授業の中で、「深める」活動(思考をする)を取り入れている。	4	11	1	0	93.8%	
		3	読書・読書活動の充実のための取り組みと授業への図書の利用を年間計画の中に入れている。	1	6	5	3	46.7%	
		4	授業の中で学校図書を活用するための工夫を行っている。	2	3	7	2	35.7%	
		5	家庭学習の習慣化・充実を図り、授業と連動させる工夫を行っている。	4	10	2	0	87.5%	
		6	カリキュラム・マネジメント、PDCAサイクルを活かした計画的な指導・支援を行っている。	3	11	1	0	93.3%	
	※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策								
	1	予定より遅れて、まとめにいけない時があるので、意識してやれるようにしたい。							
	2	コロナ禍で授業時数の確保のために毎時間「深める」活動を取り入れてはられない。							
	3	教科の授業の中で、図書室を利用できなかった。(年間指導計画にはあるが)							
	3.4	各教科の図書を利用した授業実践研修などがあれば、もっと活用しやすくなるかと思う。							
	3.4	布佐カリキュラムで活動を考えている。							
	3.4	学期に一度は取り入れるようにする。							
5	家庭学習が、なかなか身に付かないように感じるが、難しい問題である。								

言語活動の充実・共生的な態度・職員の協働・小中をつなぐ・	特別活動・道徳	7	特別活動(学校行事、生徒会、学級会、学級活動)での話し合い活動を進めている。	8	5	2	0	86.7%		
		8	課題発見、解決型の総合的な学習を進めている。	10	6	0	0	100.0%		
		9	一人一人のよさを認め、人間関係形成のできる生徒指導を進めている。	13	4	0	0	100.0%		
		10	生徒の自主的な活動を基盤とした地域貢献活動を推進している。	4	5	5	0	64.3%		
		11	一人一人が所属感・存在感をもてるような学級経営の工夫により、生徒が充実した生活を送っている。	6	8	2	0	87.5%		
		12	学級活動等の活性化により、生徒の主体性の育成を目指している。	9	6	0	0	100.0%		
		13	教育活動全体を通して、生徒の豊かな心を育む努力をしている。	9	6	0	0	100.0%		
		14	道徳で培った道徳的判断力や行動力を、生徒の生活や他の教科の中で生かそうとしている。	5	9	1	0	93.3%		
		15	特別の教科 道徳の授業を考え議論する内容になるよう努力している。	5	9	1	0	93.3%		
		※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策								
		7	アプローチをすると必ず返してくれる生徒が多い。部会を中心に活動を効果的に増やしたい。							
		11	生徒が地域のために行動することは、コロナ禍のためできなかった。(部活など)							
		12	今年度、スタートが例年と違い、何かと急ぐことが多かった。そのため、2年3学期にリーダーにしようとしていた生徒を活かすことができなかった。3学期にうまくつなげ最後まで育てていきたい。							
		13	活性化を図るために、他学年の先生からアドバイスをもらい実践している段階だが、なかなかうまくいかない部分がある。							
		16	コロナ対応もあり、グループ等での議論ができない。							
19	朝の打ち合わせがない分、特に学年職員の情報共有を大切にしていきたい。									
	道徳の授業が難しい・・・日々精進します。									

言語活動の充実・共生的な態度・職員の協働・小中をつなぐ・	生徒指導・教育相談・長欠対策	16	問題行動等が発生した場合、職員相互がチームにより対応し、管理職や関係職員への報告・相談等を行いながら、早期解決に努めている。	15	3	0	0	100.0%		
		17	生徒に自律的な規範意識を育てるよう、学年、学級、分掌等での活動推進に努めている。	11	6	0	0	100.0%		
		18	特に課題を抱えた生徒に関する情報は、学校職員の共有すべき情報として伝える、相談するなどの「つなぎ機能」が生かされている。	13	3	2	0	88.9%		
		19	長欠・教育相談に関する指導は、必要に応じ、他校種、外部機関と連携するなどチームワークで対応しようとしている。	13	4	1	0	94.4%		
		20	生徒が自ら考え、自主的・自律的に行動でき、みずからの言動に責任を負うことのできる生徒を育成するための指導を行っている。	8	9	1	0	94.4%		
		21	社会の一員としての意識(公平・公正・勤労・モラル等)を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	8	10	0	0	100.0%		
		22	保護者と連携して、粘り強く生活習慣を身につけた生徒を育成するための指導を行っている。	9	8	1	0	94.4%		
		23	いじめ根絶に向けて、全職員でいじめ防止基本方針を確認し、全職員で連携して取り組んでいる。	13	4	1	0	94.4%		
		※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策								
		16	道徳の授業で考えたことを、後日、全体に紹介する機会を作るようにしている。							
19	生徒指導部会を通して必要な生徒の情報共有ができた。									

健康管理・安全管理	24	生徒に体力・健康の自己管理ができるよう、治療のすすめ、生活習慣などの指導を行った。	13	4	1	0	94.4%	
	25	災害、危険防止の観点からシェイクアウト訓練等の指導を子どもたちに適切に行った。	14	4	0	0	100.0%	
	26	日々の生徒の健康について、特にコロナ対応(マスク、手洗い、消毒、検温等)の指導を子どもたちに対して適切に行った。	16	2	0	0	100.0%	
	※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策							
	22	挨拶の質を変えていけるような活動を主に部活動でしていく。「明るい子が挨拶できる」だけではないような取り組みをしていく。						
	25	養護教諭の先生からの情報(肥満、視力、歯等)を生かしている。						
	25	コロナ禍ということもあり、毎日、1人ひとりの健康管理について指導ができています。						
	25.6.7	生徒たちの自主的な意識でよくできていた。						
	27	健康カードの出し忘れが多かったが、毎日、朝、帰りの会で呼びかけを続けた。						
		最近、ゆるみが出ているので、指導を続けたい。						
特別支援教育	27	特別な支援を必要とする生徒に対して、学級経営や授業の中で配慮を行っている。	10	6	0	0	100.0%	
	28	ユニバーサルデザインの考え方に基づいた授業実践や学級経営に努めている。	8	8	0	0	100.0%	
	29	特別な支援を必要とする生徒について個別指導計画や個別の教育支援計画を適切に作成し、活用している。	10	6	0	0	100.0%	
	30	特別な支援を必要とする生徒について医療、福祉(児相など)関係機関との連携を図ろうとしている。	13	3	1	0	94.1%	
	31	通常級における合理的配慮の在り方について全職員で考え、具体的な取り組みを行っている。	9	7	1	0	94.1%	
	32	特別支援教育部会を定期的実施し、情報の共有や共通理解を図り、校内の特別支援教育の推進の中心となるように活動している。	6	9	0	1	93.8%	
	※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策							
	28	生徒指導部会の中で、個別支援の必要な生徒について情報共有を確実にし、その後の指導の方向性を考え実践できている。						
	29	ICTをできるだけ使い、視覚でも分かるようにしている。						
	30	学期ごと(1年ごと)に保護者に計画を渡し、お互いのニーズを確かめ、実行に移せるものは移している。						
32	具体的な取り組みを考えるために、他の実践モデルを参考にした研修を全体で行い、考えるきっかけを作る必要があると思う。							
	今年度の学年別の授業(特支)や先生方を多く配置して下さったのがとてもありがたく、カリキュラムも改善されてきたと思う。来年は、全体の人数が増えるので、充実した教育課程ができればと思う。							
研究と修養	33	学年・教科を越え、教員としての力量形成のための研修を進めている。	5	10	3	0	83.3%	
	34	若手教員、栄養職員、養護教諭等の校内職員の研修に、積極的に関わり、人材育成に寄与している。	9	9	0	0	100.0%	
	35	郷土の偉人や業績、地域の歴史を学ぶカリキュラムに基づき授業を実施し、小中(高)をつなぐ教育を進めようとしている。	8	8	2	0	88.9%	
	※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策							
	34	他学年の職員と積極的に交流し、自身のクラスの指導に活かしている。						
	34	論文を他の教員に見せて、それについての話をした。						
	36	最低限のところではしか理解できていない。本質を掴めていない。まず、概要を理解する。						
	36	各学年共に「ふさカリキュラム」を実施している。						
	36	まとめ取りのような形になり、振り返りが甘くなってしまった。						

言語活動の充実・共生的な態度・職員の協働・小中をつなぐ・人を育てる(職員・生徒)

組織・学校情報の広報	36	学校教育目標の具現化に向けて、保護者・地域と連携を図り、教育活動の理解や参画を得るよう努めている。	8	8	2	0	88.9%	
	37	組織の円滑な運営のために、学年を越えて声を掛け合うなど、「つなぐ」意思疎通を図っている。	9	8	1	0	94.4%	
	38	学年や学級の課題を明らかにし、改善するための工夫を行っている。	10	8	0	0	100.0%	
	39	市予算の財務は、学校教育目標具現化に向けて適正執行されている。	9	6	2	1	83.3%	
	40	HP・学校便り・学年だより・学級だより・保健だよりや給食だより、相談室だよりなど学校広報が進んでいる。	10	7	1	0	94.4%	
	※番号を記入し、その項目についての改善策及び長所の伸長策							
	37	保護者の声をききながらできている「つもり」ではあるが、今年は、特にかかわることが難しかった。手段は難しいが、かかわりを増やしたい。						
	38	自分にあまり余裕がなく、他の職員の困り感に気づくのが遅くなってしまった。						
41	新しい月の前に学年だよりを出している。							

以上、教職員による自己評価と今年度の重点項目等についての自由記述です。

4 令和2年度 学校評価のためのアンケート共通項目の結果の比較から 2021.2

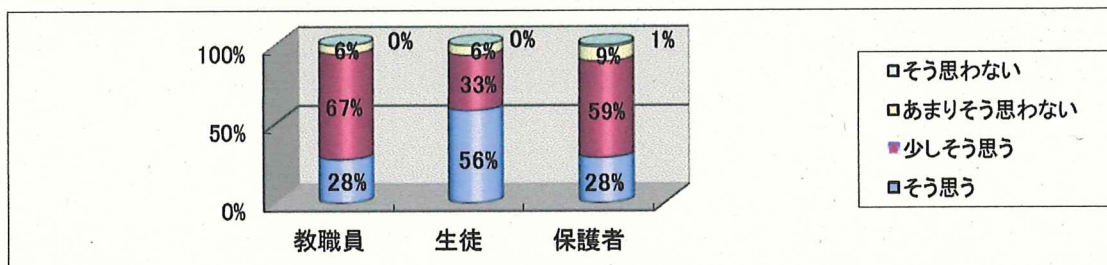
新型コロナウイルス感染症の拡大のため、政府により令和2年3月から臨時休校の措置がとられ、学校教育は大きく変更を迫られました。令和元年度の卒業式は挙行できたものの、令和2年度の入学式は6月に延期され実施、その後も学年を午前と午後に分けて登校する分散登校を実施し、通常授業が始まったのは7月に入ってからとなり、大きく本校教育活動も内容・実施方法を変更せざるを得ない状況となりました。生徒の学習の量と質を確保することを優先し、学校行事などは、その目的を再吟味し、内容の変更や延期、または中止としました。今年度の学校評価の内容や項目についても、そのような状況から、学校や地域との連携を中心に実施できない内容や項目については、今年度は削除し、アンケート項目からも削除しました。(地域アンケートについては実施せず、生徒・保護者アンケートについては、内容を一部変更、削除しました。)

1. 考察と次年度への具体的な手立て

① 布佐中生は互いのことを気づかい、思いやりがある。

(教職員: 共によりよく生きるための豊かな心や思いやり、創造性の涵養を図っている。)

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	28%	67%	6%	0%	100%
生徒	56%	33%	6%	0%	95%
保護者	28%	59%	9%	1%	97%

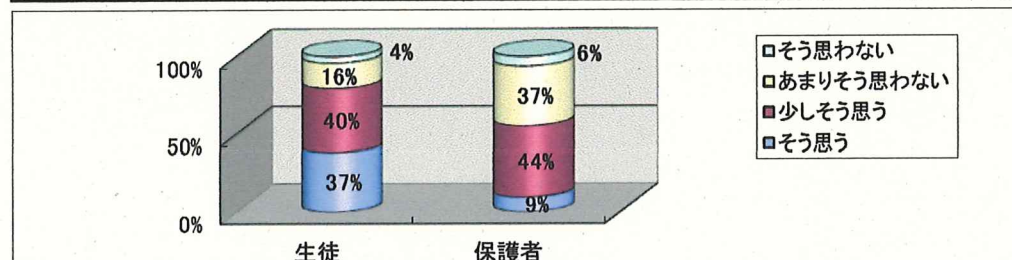


〈考察〉

コロナ禍で若年層のうつ症状が例年よりも多いという報告もあるが、「共によりよく」という学校教育目標のもと、小規模校の利点を活かして、生徒同士、生徒と教職員、生徒と地域・保護者の方々との豊かなつながりを重点として取り組んできた。コロナ禍でできることと、できないことがあった今年度であるが、できるだけ豊かな人間関係を土台とした思いやりやコミュニケーション力をつける取り組みを継続していく。道徳教育をはじめ、すべての教育活動の中で、思いやりの心を育てたい。そのためにも、教職員の日頃からの言動、生徒への接し方を常にこれでよいのだろうかと振り返りたい。

② 授業の内容は分かりやすい。

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
生徒	37%	40%	16%	4%	97%
保護者	9%	44%	37%	6%	96%

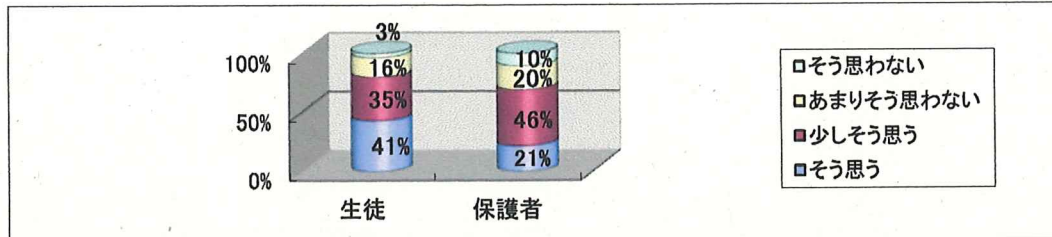


〈考察〉

「分かりやすい授業」の実践が何よりも大切と考え、教職員の授業での授業の始めの学習課題の提示や終末でのまとめや振り返りなどの工夫を行っている教職員が100%という結果であったが、分かりやすい授業と感じられる生徒の割合は8割である。保護者は生徒の様子や成績等から55%に留まり、4割以上がさらに分かりやすい授業の実践を求めていることが分かる。新学習指導要領への本格的な移行となる次年度もさらなる分かりやすい授業の実施に向けた努力が必要である。

③ 宿題や課題など家庭学習は真面目に取り組んでいる。

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
生徒	41%	35%	16%	3%	95%
保護者	21%	46%	20%	10%	97%

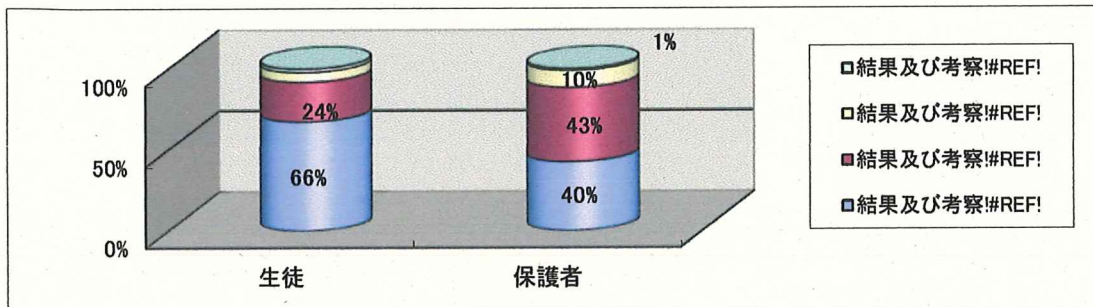


〈考察〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校の措置で、家庭学習の割合が非常に大きくなるものとなった。学校から提示される課題に対して、自分で取り組むことができる生徒も多いが、なかなか自分の力で課題プリントができない生徒も少なくない。生徒の学習課題については、生徒の到達度に合った一律のものでないものが提示されることも必要であると思われる。「自ら学び」という学校教育目標の達成に向けて更なる工夫や努力が求められる。昨年度よりも達成率が生徒・保護者ともに上昇していることは評価でき、さらに充実したものとなるようにしたい。

④ 体育祭や合唱祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
生徒	66%	24%	6%	2%	98%
保護者	40%	43%	10%	1%	94%



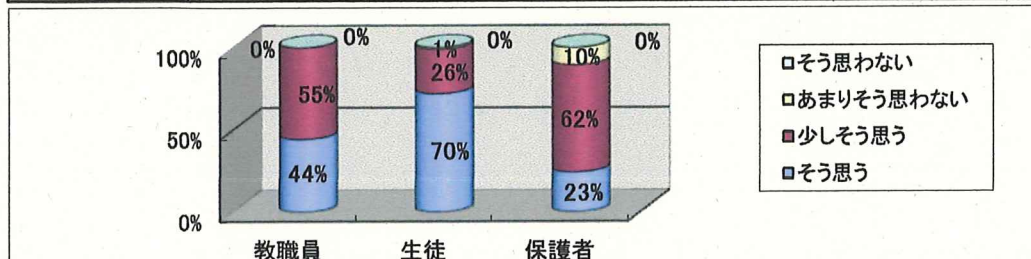
〈考察〉

コロナ禍の中で、学校行事も制限され延期や中止が余儀なくされてしまった。かろうじて実施した行事も内容の縮小や変更が行われたが、生徒たちは制限の中でも、自分たちの力を発揮し、それぞれで努力し、成果をあげたと振り返っている生徒が多いと思われる。各学年で、次につなげる取り組みを工夫して行われたように思われる。

⑤ 学校は、校内でのマナーや社会のルールを大切にしている教育をしている。

(生徒:校内での集団生活のマナーやルールを守っている。)

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	44%	55%	0%	0%	99%
生徒	70%	26%	1%	0%	97%
保護者	23%	62%	10%	0%	95%

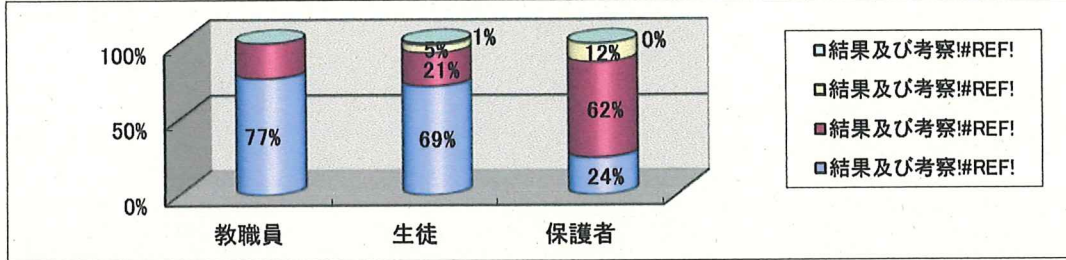


〈考察〉

校内での目に余るルール違反や行為はあまり見られず、遅刻などもほとんどない状況が続いている。校外でのマナーという点では、一般の方から注意をうけるということもあったが、学年や部活動、学級などで全体的なこととして取り上げ、また個別に個人的な指導も行っている。自律的な行動がとれる生徒も多いが、今後も社会規範や公共のルールについては継続的に指導が必要と思われる。また、色々なケースに応じた適切な言動が取れるような対応力を身に付けさせることも大切と思われる。

⑦ 布佐中生は避難訓練に参加して防災や安全に気をつけて生活している。
 (教職員:災害、危険防止の観点からシェイクアウト訓練等の指導を適切に行った。)

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
教職員	77%	23%	0%	0%	100%
生徒	69%	21%	5%	1%	96%
保護者	24%	62%	12%	0%	98%

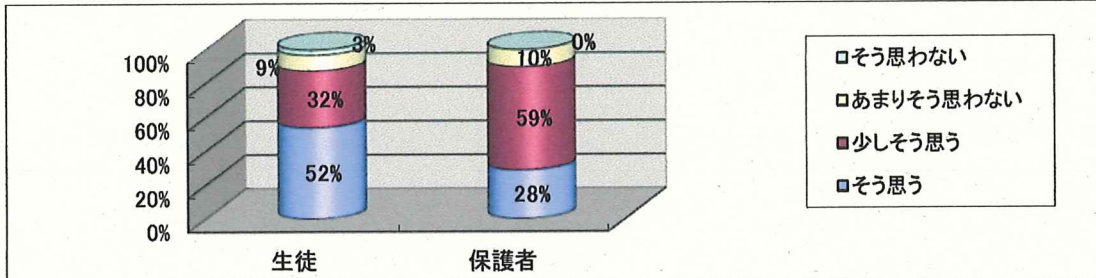


〈考 察〉

今年度は、布佐地区合同避難訓練が中止となり、ボランティア生徒の参加ができなかったことは残念である。今後も継続して生徒の地域防災への関与を積極的に図りたい。そのためにも、地域との連携は大変大切なことと思われる。生徒たちの生活している地域とともに防災教育について共に考え、生徒にいざという時に行動できる力を身につけさせたい。布佐中敷地は利根川決壊時には、5mの高さまで水がくると予想されているため、布佐小との連携、協力も必要で、保護者の送迎用の自家用車の乗り入れなどについても小学校への協力依頼をしていきたい。

⑧ 家庭への配付物などは、確実に目を通してもらっている。
 (保護者:学校の教育方針に関心があり、学校・学年だよりなどは目を通すようにしている。)

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
生徒	52%	32%	9%	3%	96%
保護者	28%	59%	10%	0%	97%



〈考 察〉

コロナ感染症拡大予防のための措置等、学校だけでなく我孫子市教育委員会などからの配付文書も今年度は多い。保護者の目に入らずに保護者も知らないということがあがるが、確実な情報共有のためにも徹底したい。文書だけでなく、必要な場合は、学校メールでも配信するようにした。学校HPも含めて、ICTの活用をはかり、効率化に向けた取り組みがこれから更に必要となっている。

○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のための措置として、臨時休校や分散登校、行事の延期や中止、内容の変更や縮小など様々な対応に追われました。第一に生命の安全、感染症対策が優先されたが、生徒の学習の保障をどうするか、いかに確保するか追われてしまいました。従来、実施している小中や地域との連携のための取り組みは中止したため、学校評価のためのアンケート内容も大幅に変更せざるを得なかったところがあります。

令和2年度 学校運営全般における第3者評価（学校評議員による評価）

1. 学校教育目標について

- ・本年度の重点目標にむけた取り組みが推進できたと思います。
- ・学校教育目標と重点目標はどれも大切な項目となっていると思います。今年度は学びのスタイルや生活の習慣の大きな変化の中での対応は大変だったと思いますが、学校教育目標に向かって取り組んでいたと思います。
- ・コロナ禍で、規制や自粛をしなければならない中、子どもたちのためにさまざまな工夫をしていただき、又、できる限りの感染予防対策を行い、子どもたちをお守りいただきありがとうございました。
- ・本校の教育目標である、自主と共生。我が子を含め、今の時代の子どもたちが生きて行くために、是非とも身につけて欲しいと思います。
- ・布佐地区は、のどかなのんびりとした地域で子どもの数も少なく、人間関係が固定している様に思います。お祭り等の伝統を重んじる点もあり、密接な人間関係の中で身を置いていたり、三世代が共同生活（近隣生活）を送っていたり等の地域的な特徴から、子どもたちの自主性の弱さがあるのではと感じます。
- ・子どもの数が少ないと、先生方の目が届きやすいので、子どもは受け身になりやすいと思います。『わからない事は自分から聞く』ではなく、わからない様子、困った様子をしていれば、先生が先に手を差し伸べてくれると考えている点もあると思います。これは、学習だけではなく、他の活動、生活全体で見られる事だと思います。我が子もそうでした。高校に進学し、自分で考え、自分から動くという事ができるまで、お恥ずかしい話ですが時間を要してしまいました。
- ・子どもたちの価値観はひとりひとり違いさまざまだと思います。価値観を良い悪いで決めるのではなく、互いに互いを認め合い、尊重し合う人間関係の構築を、さまざまな人間関係を交流する場で学んでいかなければなりません。
- ・本校が推進している活動と協同の授業形態、結果から子どもたちの強み弱みを見つけ一人ひとりに合った指導、多角的、多面的に問題を追及していく授業内容を是非今後もさらなる向上をされてください。
- ・思春期の子どもたちは、正義意識が強く、発言が減り、些細な事で心を閉ざしてしまうと思います。自分勝手な解釈や解決ではなく、正しい言葉の使い方や結論の導き方を互いの意見や考え方を確かめながらご指導を賜ればと思います。本年度の重点目標推進のご尽力に対し、心よりの感謝を申し上げます。

2. 学習指導

- ・生徒、保護者の願いに叶っており、生徒の学習意欲、思考力を高める取り組みとなっていると思います。
- ・生徒、保護者アンケート結果について
毎日の授業の予習・復習は「ふさ子ども学習室」を利用して下さい。是非ともお待ちしております。 「分かりやすい授業」については、考察を読み安心いたしています。令和2年度学校評価、教職員による自己評価を読ませていただきました。先生方の学習指導に対する発想・工夫・努力がうかがえ

ます。布佐中学校の生徒は恵まれている環境で勉強していると思えました。また、布佐中学校は教員同士のチームワークが素晴らしいです。

- ・家庭学習への評価が生徒・保護者共に上昇していることから、生徒の学力を高める取り組みになっていたと思えます。
- ・分散登校など、先生方の負担もかなり多かったなかで学習の質と量の確保ができた事は大変よかったです。
- ・学習指導での子どもたちの学力向上に大切な事になるのが、家庭学習だと思います。家庭学習の習慣とノートの活用、工夫、宿題以外の学習の仕方が保護者としては頭痛の元です。
- ・娘の通う高校では、タブレット活用、各教科の先生方による自作プリント、個別相談、時間の効率的な活用法、小テストの活用、放課後勉強会等で学習意欲の向上を図ってくれております。また、子どもにとって何よりの向上に繋がったのが、先生の言葉でした。わずかな点数のアップや学習意欲を褒めていただいた事が子どものやる気スイッチになった様でした。日々授業があり、放課後には部活動や委員会活動、その後の塾や習い事。子どもたちも大人同様に、一日の内にやらないとならない事も多く時間に追われている事と拝察いたします。我々大人でも日々消化させないとならない事を重点をおいてやらないといけない事、流す事、後回しにする事とわけて処理をしていると思えます。学習の仕方や時間の効率的な活用法を是非、具体例をあげながら子どもたちが家庭学習のやり方を明確に理解できるご指導を賜ればと思えます。

3. 生徒指導

- ・全体としてはできていると思えます。
- ・学校側の「生徒の健全育成」に対する姿勢を高く評価したい。また、我々ボランティアが校内で生き生きと活動している姿も、生徒の「他を思いやる」の育成に貢献しているとしたらうれしい限りだ。
- ・生徒の健全育成については、教職員・生徒には安心して通える学校という認識があるが、保護者の評価は低い。保護者会での説明等が必要かもしれない。
- ・登下校時の生徒のあいさつは、1年生がまだ慣れていない状態、しないでも良いと思っている様に見受けられる。ただし、学校で生徒と会ったときは、生徒の方からあいさつしてくれる。
- ・学校を訪問した時、校長をはじめとして教職員の挨拶、対応が素晴らしい。
- ・教職員の方々が多忙な中、よく努力していると思えます。家庭（保護者）対策については、本当に難しいとは思いますがいろいろな方々の知恵を借り、学校全体で取り組んでほしい。
- ・いじめの無い学校作りという点では、全体的に高い評価を得てはいるものの、25%は「そうは思わない」という方がいるため、今後も継続的に“いじめゼロ”の推進に取り組み、併せて広報も実施し、「希望の登校、満足の下校」の実現に向けていければと思えます。
- ・登下校時の挨拶については、時間帯や場所によって賛否両論があるところだが、小中高と地域で実施する「あいさつ運動」等を通して、それぞれが顔の見える関係を構築していき、同活動のアピールも含めて、健全な心の育成と地域に貢献することの喜びと感謝の気持ち等を感じてもらえることができれば、生徒たちの今後にとって、素晴らしいものになると思えます。

4. その他

- ・今年、コロナウイルス感染症で様々な授業や事業が中止になり大変でしたが、今年、昨年より登下校時の挨拶を進んでしてくださいました。また、元気をいただきました。
- ・どの考察も納得のいくものでした。読んで本当にそうだと思います。頑張ってください。応援しております。
- ・今年度は地域と関わるのが困難であったと思いますが、直接接する事は難しかったにせよ保護者の方とはうまく連携できたように思える。
- ・本校は、学校支援地域本部による学校支援ボランティアの皆様や、地域ルームの活用、ふさ歴史サロンの実施等で、多くの地域の皆様が本校に関わっていただいていると思います。
- ・コロナ禍のため、子どもたちの地域イベントの参加や文化活動の発表等が行えず、大変残念な1年だったと思います。
- ・先にも申し上げましたが、思春期の子どもたちは、正義意識が強く、発言が減り、些細な事で心を閉ざしてしまうと思います。我々地域住民を含め、もし間違えてしまった子どもたちがいたら、頭から怒るのではなく、起きてしまった事の原因を間違いなく突き止め、正しい言葉で、何が間違いだったのかをきちんと子どもたちに伝えていかなければと思います。言葉は魔法だと言いますが、たった一言で誰かを救う事ができたり、逆に傷つけてしまいます。愛情を持って、伝える事、教える事、指導する事、この全てが子どもたちには必要な事だと思います。子どもたちに、互いの価値観を認め、仲間と学び合い支え合いながら、他への貢献ができるようになってもらうために、我々大人が自らの行動で示していく必要があると思います。

